



けやきっ子

六栄小学校だより

第19号

令和6年10月18日

文責：久保田 真二

学校教育目標：瞳輝く「けやきっ子」～自立、協働、創造～

後期教育課程、順調なスタート！

自分のできることを続けてみよう！努力を続ければ自信になりますよ。

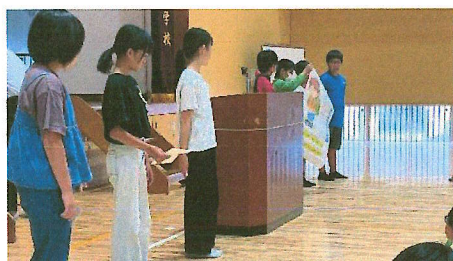
後期教育課程が始まって1週間が経ちました。今週15日(火)に後期の始業式を行いました。どの学年も落ち着いて話を聞くことができました。その後は、各教室で新しい係を決めたり、後期のめあてを決めたりして、順調なスタートが切れました。

さて、後期の始業式では教頭先生から、自尊感情について話をしてもらいました。教頭先生は小学生の頃は走るのが遅く、時には女の子に負けて涙することもあり、自分自身にあまり自信がなかったそうです。しかし、ソフトボールの大会で、突然、監督からピッチャーを任せられ優勝したそうです。その頃、岩本少年はお父さんと毎日キャッチボールをして、人知れずピッチングの腕を磨いていたことを監督の先生が知っていたそうで、それで監督は岩本少年にピッチャーを任せただけです。見事に優勝することができた岩本少年は、「あれ？オレって、なんかやれるんじゃない？」と自信を持ち、それから、いろんなことに頑張ることができたそうです。教頭先生は自分の小さい頃の話しながら、小さなことでも努力を続けていれば、直ぐには成果が出なくても、いつかはきっと成果が出て、自分に自信が持てるようになるし、それが、自尊感情につながることを話してくださいました。子どもたちは真剣に話を聞いていました。



始業式で児童に自尊感情について話をされる教頭先生

六栄小学校の子どもたちはたくさんの可能性や素晴らしい力を持っています。しかし、その可能性や力をまだ十分発揮できていない児童もいるようです。全ての子どもたちが、「自分にはできるんだ！」「やれば、できる！」という思いを持てるよう、家庭と学校が連携しながら取り組んでいけたらと思っています。後期教育課程も精一杯取り組んでまいりますので、ご理解とご協力をお願いいたします。



「六栄小 あいさつ名人大作戦」について説明する栽培・人権委員会

六栄小 あいさつ名人大作戦

後期始業式の後、栽培・人権委員会から「六栄小 あいさつ名人大作戦」の取り組みについて発表がありました。低学年は【元気いっぱいあいさつ】、高学年は【目を見て、笑顔であいさつ】を目標にして、もっとあいさついっぱい六栄小になるように取り組みます。今週と来週の2週間、各教室であいさつチェックをするそうです。栽培・人権委員会の取り組みのおかげで、今週から少しずつあいさつが上手になってきたようです。あいさつ名人大作戦がきっかけで、もっともっとあいさつの輪が広がってくれることを期待しています。



第3回代表委員会 きれいな六栄小校区にするために

代表委員会で、きれいな六栄小校区にするために何ができるかを考え、話し合う児童の様子

ちいきピカピカミラクルプラン

16日(水)の放課後に第3回代表委員会が行われました。今回の議題は、環境掲示委員会の提案で「きれいな六栄小校区にするためには何をすればよいか考えよう」でした。下校時に通学路に落ちているゴミ拾いをすることに決まったようです。地域の方にも呼びかけて協力してもらうために、ポスターやチラシを作ったらどうか、回覧板にチラシを載せたらどうかなどいろいろなことを話し合いました。詳しいことは後日お知らせしますが、自分たちの校区をきれいになりたいという子どもたちの思い、また、学校教育目標の「自立・協働・創造」に近づいている子どもの成長も嬉しく感じました。



毎日、高学年の児童が低学年の児童のお世話をしながら登校してくれています。おかげで、交通事故に遭うこともなく、毎日元気に登校できています。班長さん、本当にありがとうございます。これからもよろしく願います。

毎月17日は「ながす交通安全の日」です。